里区に関係する略年表[1]

弥生時代後期　高地性集落（塚原遺跡・蔵持町里）が出現

672 年　日本書紀に「隠（なばり）の駅家を焚き」

1089 年　簗瀬村が東大寺の保となる
1180 年　東大寺文書に「簗瀬御庄字クラモチ[2]」の記載
1581 年　織田信長が伊賀国を支配
1608 年　藤堂高虎が伊賀の領主に

1871 年（明 4）　廃藩置県により安濃津県（のち三重県）設置、名張郡が所属
1880 年（明13）　簗瀬村を名張村と改称
1889 年（明 22）　（明治の大合併）名張郡に名張町・滝川村・錦生村・箕曲村・薦原村・蔵持村[3]・比奈地村・国津村が発足（ → 右図）
1942 年（昭 17）　蔵持村・薦原村・箕曲村を名張町に合併

1954 年（昭 29）　（昭和の大合併により）名張市誕生
1959 年（昭 34）　伊勢湾台風上陸、市内で死者 11 名他未曾有の被害を受ける
1963 年（昭 38）　蔵持に名張初の工場誘致
1972 年（昭 47）　蔵持小学校新校舎完成
1973 年（昭 48）　蔵持小学校旧校舎が明治村に再現
　　同　　緑が丘地区が里区より分離
1977 年（昭 52）　蔵持黒田遺跡（原出）で弥生時代の集団居住跡や土器発見
1979 年（昭 54）　蔵持原出の春日神社の「十三重塔」を市文化財に指定
1981年（昭 56）　蔵持公民館完成
2003 年（平 15）　「伊賀地区六市町村との合併の可否を問う市民投票」実施、合併反対が多数
2006 年（平 18）　中央浄化センター、防災ステーション完成
2008 年（平 20）　武道館いきいき
2009 年（平 21）　里コミュニティセンター完成（公民館の移転）

＊ 現在の蔵持町は、明治以降、大きくは三度の合併を巡る激論を経て編成

---

[1] 「おきつもの名張　今と昔」より恣意的に抜き出したもので、体系的なものではありません。
[2] 蔵持地区の名前の由来は、古代の名族車持（クルマモチ）に通じると考えられています。（「名張市史」より）
[3] 蔵持村は、旧 6 村（下三谷、短野、夏秋、大屋戸、蔵持、狭田）が合併して編成